

iOS 版『聞き書きマップ』で危険箇所を速報する手順（暫定版）

大きな地震などの際には、その時点では倒壊しなかった建物やブロック塀などが、その後の余震で倒壊するなどして、新たな被害をもたらす場合があることが知られています。

このような新たな被害を防ぐために、通学路などの安全点検を緊急に行う必要があるかもしれません。そのなかで、万一、速報の必要な危険箇所などが見つかった場合に、スマートフォン版の『聞き書きマップ』から最小限の情報をメールで送付する方法を思いついたので、その手順を説明します。

（以下では iPhone を例として説明していますが、Android 版の場合も、画面キャプチャの方法が違うだけで、それ以外はほぼ同じです。）

1. iOS 版『聞き書きマップ』で危険箇所の写真を表示し、その画面をキャプチャします。

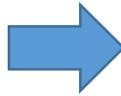
画面キャプチャするには、この2つのボタンを同時に押す

このような、画面キャプチャの画像が、「カメラロール」に保存される。



2. 危険箇所の地点を示す地図を表示します。

地図を表示するには、このボタンをクリックする。



地図表示画面に戻るので、危険箇所の地点がわかるようにズームする。



3. その画面をキャプチャします。



4. 上記の手順でカメラロールに記録した2枚の画面キャプチャ画像を、メールに添付するなどして、知らせたい相手に送ります。

以上の手順で、危険箇所についての最小限の情報を、簡便に速報できると思います。
ぜひお試しください。